

当社の代表取締役会長である志藤昭彦が「神奈川文化賞」を受賞しました

2022 年 10 月 11 日 神奈川県記者発表資料より一部抜粋

「神奈川文化賞」

神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、
神奈川県が神奈川新聞社と共同で毎年度贈呈しているものです。

神奈川文化賞

し ど お あきひこ
志藤 昭彦 (79歳)

●産業●

自動車産業の発展への貢献と

ダイバーシティの推進



自動車のサスペンション部品メーカーである株式会社ヨロズの第3代社長（1998～2008年）として、車両構想・企画段階から共同開発に参画し、製品設計、解析、試作、実験、金型・治工具製作そして製品製造から品質保証までを行う、独自の「トータルプロダクションシステム」を生み出した。長年の納入先であった日産自動車が再建計画として発表した「日産リバイバルプラン」で系列が解体された後も、2004年には「独立系」自動車部品メーカーとして歩むことができた。現在では日系自動車メーカー11社すべてと海外有力自動車メーカーとも取引を拡大し、国内7社、海外14社計21社、全従業員約6,000人の国際的な企業に育て上げた。

また、海外に数多くの生産拠点を有することから、社員の「ダイバーシティ」にいち早く取り組み、女性活躍推進法に基づいて厚生労働省が優良企業を認定する「プラチナえるぼし」を県内初、全国の製造業で初めて取得。このほか政府による「2050年カーボンニュートラル（CN）宣言」を受け、2021年に「ヨロズグローバル環境ビジョン2040」を発表し、2040年に生産工程のCO2排出ゼロを目指すなど、日本を代表する自動車部品メーカーとして業界を牽引している。

[横浜市]



11 月 3 日に開催されました神奈川文化賞・スポーツ賞贈呈式（写真提供：神奈川県）